

2021年度の授業

グループワークでは、各グループで取り組みたいマイノリティ問題を決め、各自で調べたことや共生と社会についての学びをいかし、マイノリティの人びとが生きやすい社会をデザインしました。つぎに、それぞれの発表に対して、他のグループのメンバーがコメントをしました。最後に、これらのコメントをもとにして、改めて社会デザインを考えるレポートを作成しました。なお、各グループで取り組んだマイノリティは、性的マイノリティ、障害者、在日外国人でした。

受講者の感想

- ◆ 第3クォーターから引き続き受講させていただきました。マイノリティの人々のライフヒストリーを知るだけでなく、それに関して社会や自分たちがどう変われるかを考えることができ、とても有意義な時間でした。第3クォーターの時にも感じたように、「知る」ということはとても大切だと改めて思いました。また、マイノリティに関するだけでなく、情報の取り扱い方や、パワーポイントの工夫をはじめとするプレゼンの仕方など、いろいろなことを学ぶことができました。（教育学部1年生）
- ◆ 差今講義では、共生を目指してマイノリティ問題の具体的解決策を探した。第3クォーターのマイノリティのライフヒストリーの講義を受講していたので、個人に焦点をあてた問題点は理解することができていた。その上で、今回は共生の意味を細かく学び、モード毎に解決策を考えたことでより深くマイノリティ問題の現状を学ぶことができたと思う。（創造工学部1年生）
- ◆ 到達目標に向けて一連の講義が行われ、個人の課題やグループワークが行えて良かった。現代社会が持つマイノリティについて調べる良い機会になった。また、発表資料作成を通して、見やすく・分かりやすい資料作りも学ぶことができたように感じる。この経験は今後の大学生活で役立つと思う。（経済学部1年生）